

JSPPO TV 国スポチャンネル について

JSPPO マーケティング戦略課

2022年初版

2025年8月更新

- 国スポチャンネル概要
- 運営体制
- 業務委託モデル
- 準備スケジュール
- 経費負担について
- 運営にあたってのポイント
- チャンネル数とは

JSPPOの中期事業方針「みる」スポーツ充実のため、オリンピックや活躍が期待される有望選手、またそうした選手たちに挑むべく各地から集まったアスリートたちを応援するサイト。

また、開催地の魅力を全国にお伝えするサイトとして設置(JAPAN GAMESパートナーの露出拡大も目的のひとつ)

- 2019年 第74回国民体育大会(茨城県)からサービス開始
- JSPPO & 開催県実行委員会が、時事通信社(JAPAN GAMESパートナー)のプラットフォームを活用し共同して運営
- 主なコンテンツは国スポ競技ライブ & アーカイブ配信、取材記事(結果紹介、競技紹介、会場地紹介など)、公式SNS
- 正式競技全決勝実施日(冬季大会は開催県との調整による)を原則ライブ & アーカイブ配信(一部競技はアーカイブ配信のみ)
自主撮影、既存放送(CATV等)、競技用記録用映像なども活用
- 佐賀国スポでは約980万PV(会期中)を獲得

○JSPPO

- 放送全体計画策定
- 開催県、NF、委託業者等との連絡・調整

○開催県実行委員会

- 会場地市町村との連絡・調整
- 会場における放送環境整備(ネットワーク、電源)

○会場地市町村

- PV(来場者向けに広場でモニターで試合映像を流すなど)、競技記録映像等の提供、撮影位置調整(県競技団体とともに)
- 通信基盤の提供、調整
- JASRAC音楽リスト作成
- 撮影場所・撮影スタッフID・駐車場等の確保

○時事通信社

- 現場での撮影、配信作業、全体管理、記者の手配、監督、指導

業務委託には大きく分けて2つのモデルがある。

○モデル①

全体を一括で時事通信社に委託する

○モデル②

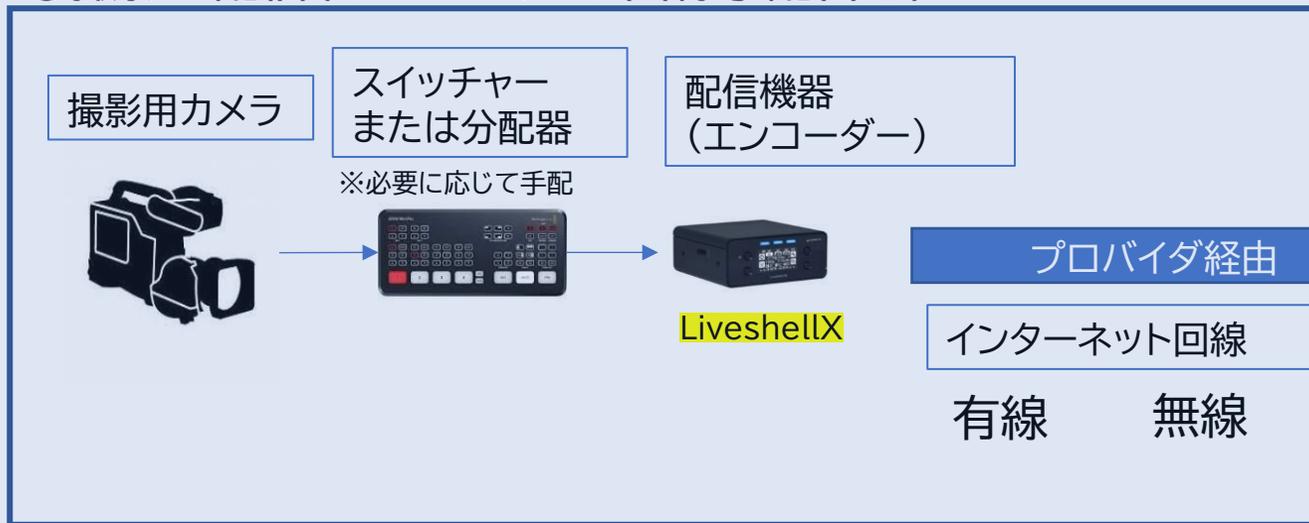
撮影～サーバーへの配信は県実行委員会にて手配し、サーバー管理より先を時事通信社に委託する

- モデル①も②も撮影クオリティはJSPPO・県実行委員会の予算次第となる。
- モデル①も②も映像の権利はJSPPOに帰属
- 撮影・配信は原則決勝のみを想定。予選は県や市町の要望に基づき開催県や市町が経費を負担の上実施する。

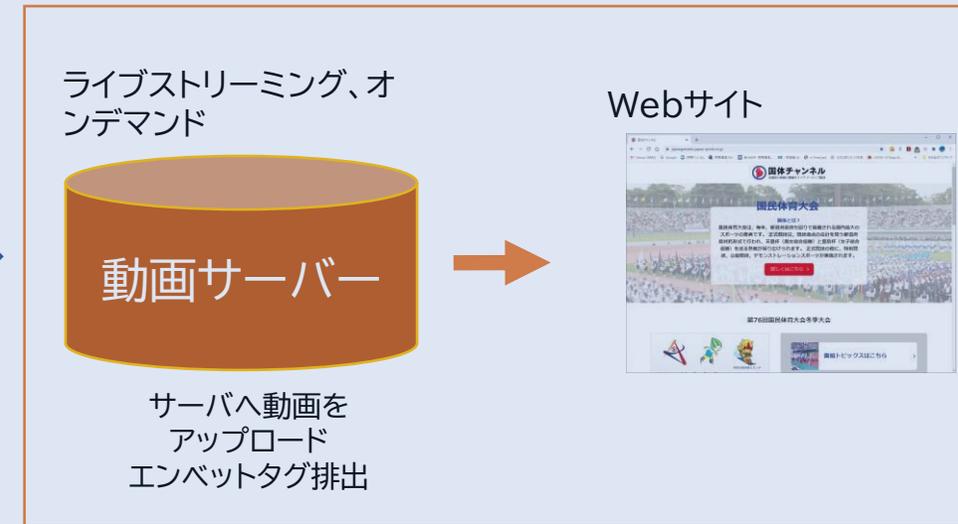
【業務委託モデル①】

2019茨城、2023鹿児島、2024苫小牧(冬)

①撮影～配信(インターネット回線手配含む)



②動画サーバ管理～webサイト運営



上記全業務(青地)を時事通信社(JAPAN GAMESパートナー)が一括受託し、費用総額をJSPPO・県実行委員会にて折半する。回線確認やカメラ位置の調整など、JSPPO・時事通信社と開催地の密な連携が必要になる。

【メリット】

撮影からwebサイトまで一貫して運営し、配信障害のリスクを軽減できる。

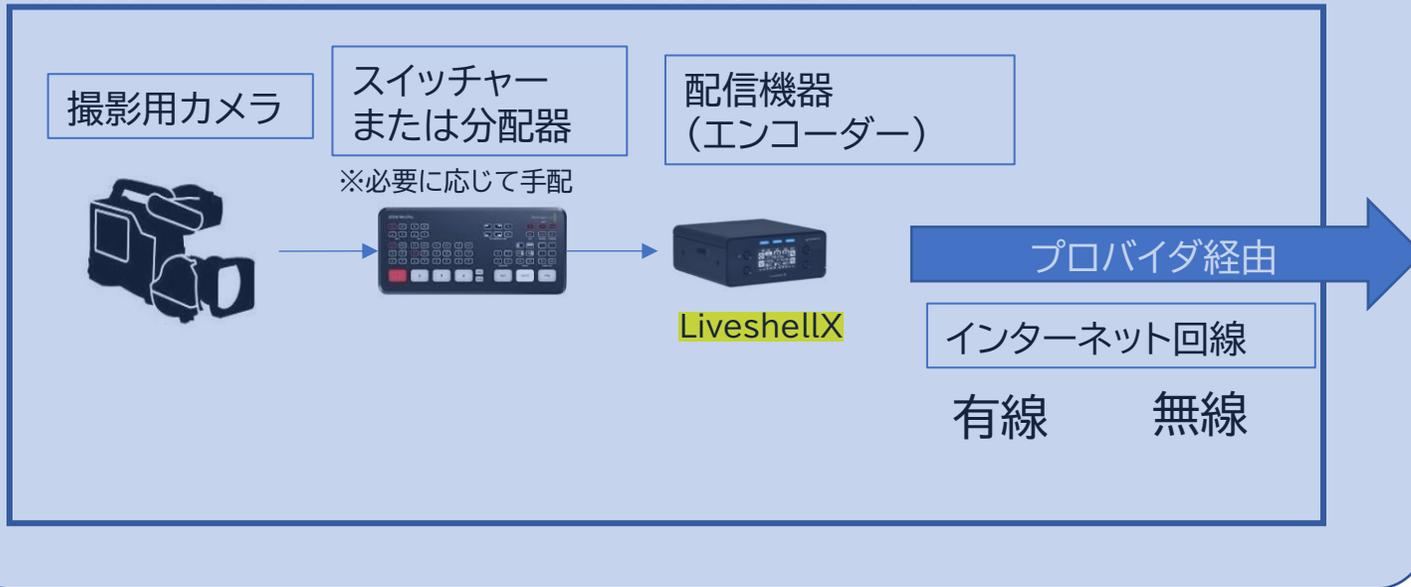
【デメリット】

映像・配信クオリティのコントロールができない(時事通信社のリソース次第)。

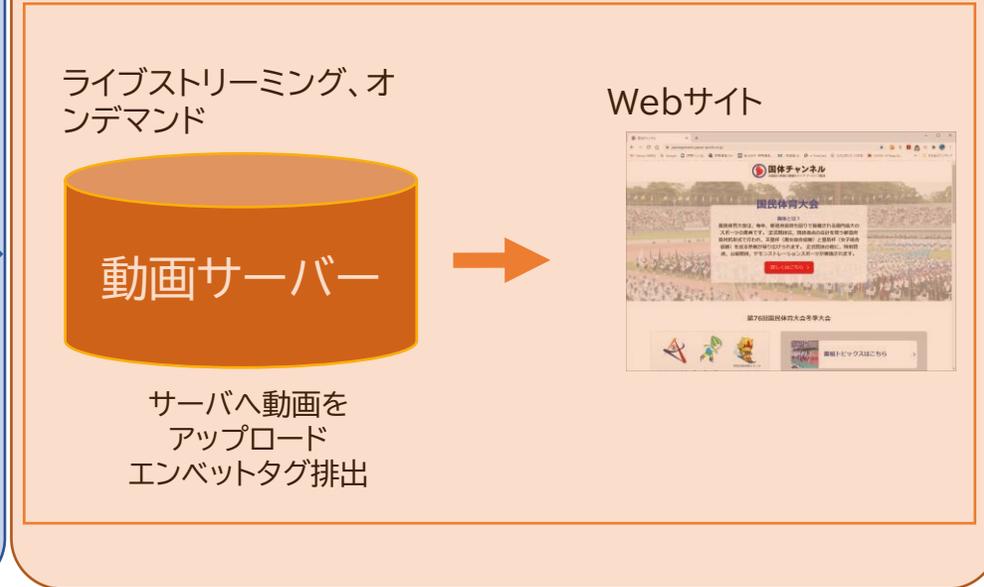
【業務委託モデル②】

2021冬季、2022栃木、2024山形(冬)、2024佐賀

①撮影～配信(インターネット回線手配含む)



②動画サーバ管理～webサイト運営



①(青地)を県実行委員会、②(赤地)をJSPOが担当し、それぞれ発注・対応する。
JSPO側は時事通信社(JAPAN GAMESパートナー)、実行委員会側は実行委員会手配の業者となる。

【メリット】

実行委員会にて各競技会場を把握した撮影計画が可能。
映像・配信クオリティ、予算を実行委員会にてコントロールできる。

【デメリット】

①と②の連携(人力的、機材的両面)の不備等により、配信障害の発生等のリスクが不安材料となる。
②の業者は、実行委員会の基準により選定することとなるが、協賛社以外の業者の参入による時事通信社との連携への影響の懸念。

○～開催前年度

国スポチャンネルに関する説明(JSPPO・県・市町村)
運営体制の確定

○当該年度10月～11月

会場地ロケハン(JSPPO・県・市町村・県競技団体・撮影業者)

※協賛看板設置位置の視察も兼ねる

○当該年度11月末まで

必要設備調達計画策定(JSPPO・撮影業者)・手配(県・市町村・撮影業者)
国スポチャンネル契約(合意書)の締結

○当該年度1月～

撮影・配信(会期前、本会期)

経費負担について

○JSPPO－開催県

- スポーツ・国スポの魅力伝えるコンテンツとして、JSPPO・開催県が以下の経費を負担している。
- ◆ 国スポチャンネルを配信するための経費(企画、JSPPO側ロケハン、決勝日の最低限の撮影・配信、サイト運営費)
- ◆ 開催県の魅力を伝えるコンテンツ(開催県・市町紹介ページ)、国スポの魅力伝えるコンテンツ(取材記事)の掲載に係る経費

○会場地市町村

- 決勝以外の配信(予選や決勝コート以外の試合等)を希望する場合、経費は市町村が負担



配信にあたってのポイント①

放送直前の計画変更・調整は、配信トラブルにつながるため、関係者（JSPPO、県、市町村、競技団体、配信業者）が事前に十分に確認することが重要です

- **JSPPO－開催県による撮影・配信対象競技・種目等の確認**
 - 決勝実施日のみ撮影、配信を行う
 - NHK放映のある競技等【過去実績：総合開会式・陸上競技・水泳(競泳)】については、アーカイブ配信を原則とする。
※チャンネル数（経費）に影響があるため、中央競技団体等とも調整
- **既存映像の提供（もらい映像）の把握**
 - 過去大会においては複数競技で映像を外部から提供いただくケースもあり
 - 競技記録用映像（行政、競技団体）など、主体や目的、使用機器等様々なバリエーションがあり、事前に国スポチャンネル側の仕様を共有する
 - 各市町が予選を配信する場合は、配信業者等と事前ミーティングを実施する（11月頃）

○会場地におけるネットワーク・電源の確保

- ネットワーク環境としては、有線設備を準備することが望ましい(無線環境は配信が滞ることがある)
- 電源についても、事前の確認が必要(競技運営上、使用する電源とのバッテイングに注意する)

○競技運営との調整

- 競技運営上撮影できない場所も存在する(採点者の後ろ など)が、映像クオリティ向上のため、カメラ位置が重要
- 協賛企業の看板の映り込みも踏まえてカメラ位置等を調整する
- カメラ位置により、上記ネットワーク・電源の融通も変わってくる
- 可能な範囲で、解説が入るようご協力いただきたい(競技団体役員等、費用負担が発生しない形での協力)

「国スポチャンネル」 チャンネル数とは...

1チャンネル

🔍 ハンドボール 日程：指定しない▼ 試合：指定しない▼ 検索

ハンドボール競技
予選 10/10 09:00-
[529] 第1日目 10/10 ハンドボール 1回戦 (少年男子)
会場：神埼中央公園体育館

チャンネル数は、同じ日で撮影する会場(コート数や競技場など)で1つとカウントします。(※同じ動画であればカメラの台数は関連しません)
1会場内に複数コートで競技を実施する場合は、複雑になりますので、以下例を参照ください。

※1日を時間等で区切ることは原則対応できかねますのでご了承ください。

<事例>

競技日程3日間、競技会場3コート(A~C)、決勝をAコートで実施

例①最終日を放映、Aコートで準決勝2試合⇒決勝を実施する場合：
1チャンネルとしてカウントします。(1日通して放映)

例②最終日を放映、A・Bの2コートで準決勝を実施する場合：
準決勝・決勝用のAコートと準決勝のみのBコートで2チャンネルとしてカウントします。
⇒この場合、決勝を行うAコート(1チャンネル分)のみJSPPO-開催県で対応します。

例③全日程、全コート(最終日はA・Bコートで準決勝・決勝を実施)を放映する場合：
初日・2日目は3コート放映(3チャンネル)、3日目は2コート放映(2チャンネル)となるため、計8チャンネルとなります。

ハンドボール競技
予選 10/10
[534] 第1日目 10/10 ハンドボール 1回戦 (成年女子)
会場：佐賀県

ハンドボール競技
予選 10/10
[537] 第1日目 10/10 ハンドボール 1回戦 (少年男子)
会場：トヨタ